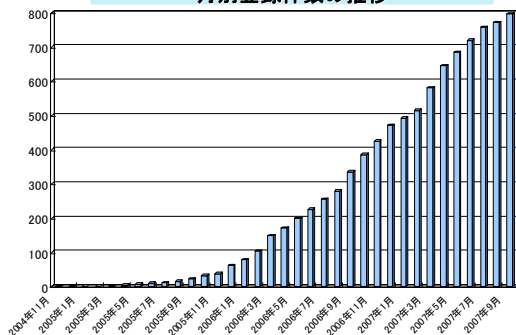




## 最近のCDMの傾向

月別登録件数の推移



- CDM理事会で登録された案件は、2006年以降急激に増加中。800件が既に登録済み(2007年9月24日現在)。
- 2007年も昨年と同様の推移で増加中。

## 最近のCDMの傾向 (2007年9月20日時点)

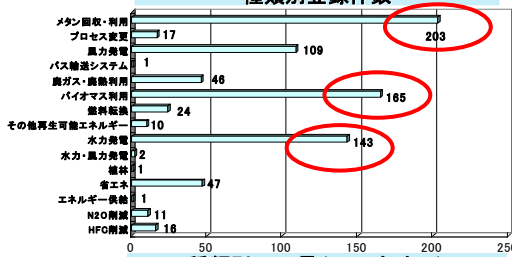
プロジェクト総数: 796件

- 約26%がメタン回収・利用プロジェクト
- 再生可能エネルギーの割合比較的高い(水力:約18%、風力:約14%など)

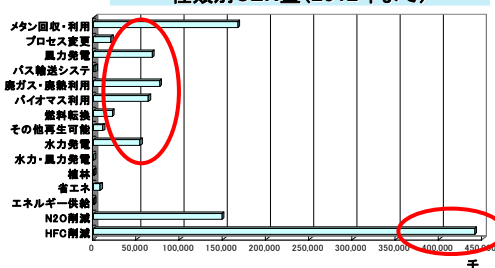
2012年までのCER量(見込み): 10億8千万トン

- 約41%がHFC削減プロジェクトからのCERs
- 二酸化炭素起源の削減量少ない

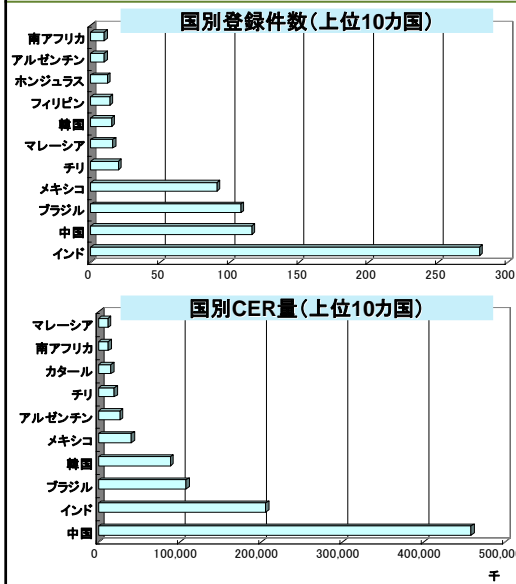
種類別登録件数



種類別CER量(2012年まで)



## 最近のCDMの傾向



- 登録件数では、インドが1位。
- 中国が追随。2007年以降月10件のペースで登録数増加。8月に総数でブラジル抜く。
- 約87%が上位10カ国に集中。
- 2012年までのCER見込み量では、中国が1位(全体の約43%)
- 約91%が上位10カ国に集中。

## 最近のCDMの傾向

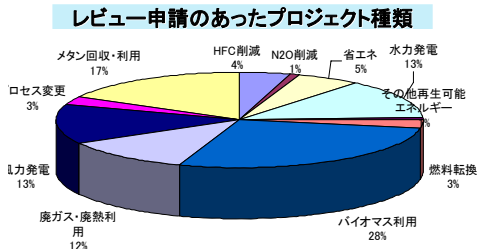
### 登録時のレビュー(再審査)申請...

プロジェクト関係締約国のDNA又はCDM理事会メンバーは、有効化審査要件に関する事項に問題があると判断した場合、プロジェクトの再審査要請を提出できる。

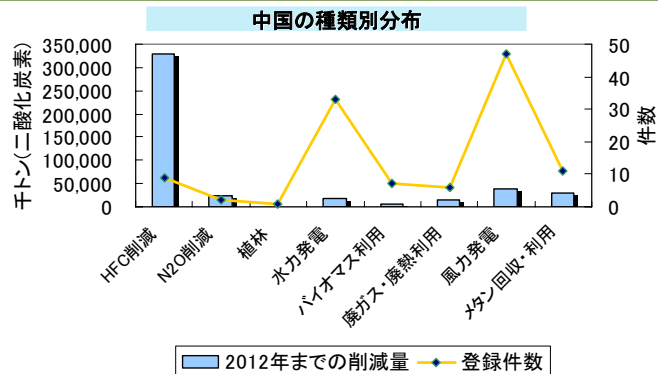
### レビュー申請が増加中

- 理事会でレビュー申請のあった登録件数: 112件 (187件にレビュー要請あり)
- レビューが実施された登録件数: 19件 (91件に対してレビュー実施)
- 理事会にて却下された案件数: 36件 (うち22件は今年登録申請された案件)

	中国	インド	ブラジル
レビュー要請あり	17	51	13
レビュー実施	0	9	1
登録却下	0	14	14



## 中国におけるCDMの傾向



- 中国では、風力、水力が急速に増加。
- メタン・回収利用が少ないのが特徴。
- 国内承認案件の約53%が水力(現在737件承認)。

## 排出係数値による削減量の差

コンバインド・マージン…

グリッドに接続する再生可能エネルギー発電の排出係数

$$\text{GHG削減量} = \text{ベースライン排出量} - \text{プロジェクト排出量}$$

ベースライン排出量 =

$$\text{グリッドに供給される電力量 (MWh)} \times \text{ベースライン排出係数 (tCO}_2\text{/MWh)}$$

- 承認方法論のACM0002において、コンバインド・マージンの計算方法が明記されている(小規模方法論AMS-I.D.でも選択可能。)

## 排出係数值による削減量の差

- 全体平均値: 0.753 kgCO<sub>2</sub>/kWh  
(316件、最高値: 1.136、最小値: 0.1204、分散: 0.044)
- 中国の平均値: 0.929 kgCO<sub>2</sub>/kWh  
(79件、最高値: 1.11、最小値: 0.626、分散: 0.014)

【参考】インド平均値: 0.8616 kgCO<sub>2</sub>/kWh  
(102件、最高値: 1.136、最小値: 0.418、分散: 0.081)

- 中国には政府公表のグリッドデータ排出係数がある

例えば、仮に50MWの流れ込み式水力発電が年間180GWhの電力量をグリッドに供給するとした場合、

全体: 年間約14万トン (2~20万トン) 中国: 年間約17万トン (11~20万トン)

## 実際のクレジット発行量

CERが発行されたプロジェクト数: 240件

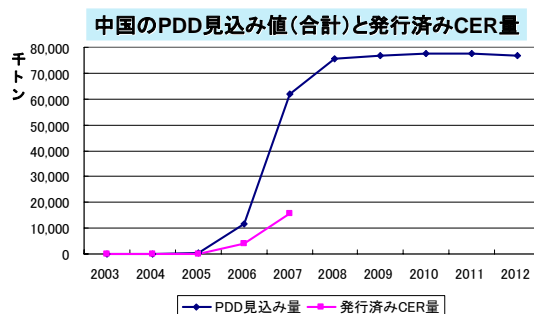
- 平均CER量(一回の申請): 23万4千トン
- 平均日数(一回の申請): 631日

ただし、プロジェクト種類によって大きく異なる

種類	CERが発行された件数	CER量(発行済み)	一回の平均申請量	一回の平均日数(CER発生期間)
HFC削減	10	41,433,452	920,743	103
メタン回収・利用	45	5,381,921	77,999	353
水力発電	40	2,691,110	56,065	784
風力発電	31	2,098,674	63,596	1020

## 実際のクレジット発行量(中国)

- CERが発行されたプロジェクト: 16件  
HFC(6件)、風力(7件)、メタン回収・利用(2件)、水力(1件)
- CER発行量: 19,688,085トン(全体の約24%)
  - ◆ 一回の平均申請量: 787,523トン
  - ◆ 一回の平均日数: 274日



K. Iyadomi

IGES | <http://www.iges.or.jp>

2007年9月25日 日中CDM協力プログラム 公開セミナー「中国におけるCDMの最新状況」

11

## 実際のクレジット発行量(中国)

### CERが一部発行されたプロジェクトの場合(全16件)

		2003年	2004年	2005年	2006年	2007年
HFC破壊 (6件)	PDD見込み量	—	—	—	9,623,658	38,134,172
	CER発行量	—	—	—	3,506,568	15,490,220
	発行率(%)	—	—	—	36.4	40.6
風力 (7件)	PDD見込み量	32,819	53,942	216,546	501,649	616,259
	CER発行量	20,244	53,011	118,781	241,110	0
	発行率(%)	61.7	98.3	54.9	48.1	—
メタン・回収 利用 (2件)	PDD見込み量	—	—	239,216	400,294	474,299
	CER発行量	—	—	28,975	62,309	0
	発行率(%)	—	—	12.1	15.6	—
水力 (1件)	PDD見込み量	—	—	—	255,422	319,277
	CER発行量	—	—	—	166,867	0
	発行率(%)	—	—	—	65.3	—

K. Iyadomi

IGES | <http://www.iges.or.jp>

2007年9月25日 日中CDM協力プログラム 公開セミナー「中国におけるCDMの最新状況」

12

## 実際のクレジット発行量(中国)

CERが一部発行されたプロジェクトの場合(全16件)

- 必ずしも発行率は現状を反映しているとは限らない→風力、水力は申請までの期間が長いなど
- HFCプロジェクトはクレジット期間の開始を遅らせているケースがある(うち3件)
- 風力7件、水力1件は、プロジェクトが予定どおり実施されており、PDD見込み値と実際のCER量が比較しやすい。ただし、風力案件は2006年の途中からまだ発行申請がされていない。
- メタン回収・利用(ランドフィルガス)の2件は、当初のクレジット期間開始よりCER発生。PDD見込み値よりCER量は少ないことが分かる。

ご清聴ありがとうございました。

**IGES CDMプロジェクトデータベース**  
**<http://www.iges.or.jp/jp/cdm/index.html>**